

地域経済研究会の会則及び概要

地域経済研究会会則

第1条 (名称)

本会は、地域経済研究会と称する。

第2条 (目的)

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

第3条 (事業内容)

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適当な諸事業を行う。

第4条 (会員)

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

第5条 (代表者)

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

第6条 (事務局)

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

第7条 (事務所)

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

第8条 (設立年月日)

本会は、1996年5月11日に設立する。

地域経済研究会の概要

【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

【会の略史】

1996年5月11日(土) 第1回研究会開催

2004年7月24日(土) 第48回研究会開催

【会員数】

98名(2004年9月1日現在)

【代表者】

岡田知弘(京都大学大学院経済学研究科教授)

【事務局・会計担当者】

三重遼一(京都大学大学院経済学研究科)

宇都宮千穂(京都大学大学院経済学研究科)

【機関誌】

『資本と地域』(毎年10月発行)

【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax : 075-753-3462 (研究室直通)

E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp

投稿規程と執筆要項

投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は年刊として、毎年10月に発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
 - (1) 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
 - (2) 他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
 - (3) 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
 - ・ 原稿のファイル
 - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 掲載の採否は編集委員が決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回(初校のみ)とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛(okada@econ.kyoto-u.ac.jp)とする。

執筆要項

1. 論文Ⅰは図表を含めて30,000字程度とする。

2. 論文Ⅱは図表を含めて20,000字程度とする。
3. 書評は4,000字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて1桁1字(欧文および数字は1桁2字)で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参照文献の表示方法については、WEBサイト(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>)において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資(史)料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字(正字)の部分を通用の書体(新字)に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ%、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5億6,524万円」のように適宜単位を補ってもよい。
8. 謝辞は掲載できない。

資本と地域

創刊号

内 容

巻頭言	岡田 知 弘
論文 I	
昭和期の市町村合併と地域経済・地方財政—静岡県富士市を例に—	福 士 哲 生 (1)
論文 II	
野菜の通るみち—ねぎの流通—	竹 上 知 秀 (24)
地域経済の現場から	
リストラクチャリングと地域経済—IBM 野洲工場を例に—	水 野 直 輔 (36)
地球をあるく	
オーストラリアの印象と現実	クリストファー・ラムリー (41)
書評	
森本隆男・矢倉伸太郎共編『転換期の日本酒メーカー—灘五郷を中心として』	大 貝 健 二 (44)
書を持って街に出よう	
「おおきに」のフィールドワーク	高 橋 寛 (46)
今をとらえる	高 山 一 夫 (48)
学会参加記	柏 尾 珠 紀 (48)
研究の周辺	三 重 遷 一 (49)
2003・2004 年度前期研究活動報告	(50)
院生紹介	(52)
地域経済研究会会則、投稿規定	

編集者のひとり言

皆様のご理解とご支援のもとに、『資本と地域』創刊号を発刊することが出来ました。心よりお礼申し上げます。

岡田ゼミでは、院生が自主的な勉強会を開催していますが、今年は、春から暉峻衆三先生の『日本の農業 150年』の輪読を行い、夏には暉峻先生をお迎えして交流会をもつことができました。今号では、詳細は掲載できませんでしたが、とても爽りのある交流会になったと思います。

私たちは、今後も紙面上で、研究活動や上記のような交流をご紹介していきたいと考えています。本誌が、地域経済学研究会に集う人たちの軌跡となり、また、院生の成長の記録となって、長く私たちとともに歩んで行くことを願っています。どうか、今後も温かく見守って下さい。(関根佳恵)

ゼロから作り上げた『資本と地域』創刊号がこうして発刊できたことに胸をなでおろしています。今後も岡田ゼミと会員のご協力のもとで、2号3号とより進化する雑誌にしていきたいと思えます。地域経済研究会も今後、様々な報告者を迎えて内容の充実を図りたいと願っています。是非、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(三重遷一)

原稿の締め切りは守らない、何をやっても足手まといで、いつもほかの編集委員の方々に多大なる迷惑をかけてしまい本当に申し訳ないかぎりでした。こんな私が言うのもどうかとは思いますが、『資本と地域』第一号、発刊出来てよかったです。こうして産声を上げた紀要を、

定期的に、着実に、そして内容的にも前号を超えるものを作り上げていくことが、これからの課題になると思いますが、今回編集委員として携わることが出来た経験を活かして取り組んでいければと思います。

最後になりますが、また紀要の出版にあたり、多くの方々に協力して頂いたことを感謝しております。この紀要に関して、忌憚の無い御意見等聞かせて頂ければと思います。本当にありがとうございました。(大貝健二)

院生をとりまく環境は、厳しい。奨学金や授業料免除等の基本的な支援制度は大きく変更される一方、大学院重点化と少子化の影響から就職は極めて困難となっている。ODや研修員を続けても就職は不透明であり、その間、研究時間を削りアルバイトをしながら生活と研究を維持している。加えて、地域経済という比較的新しい学問分野では発表の場も限られる傾向にあり、既存の学術雑誌からのリジェクトに苦しめられることも多い。こうしたなかで研究を続けていくためには、学界で確立した専門領域に、議論や発表、就職先も頼らなければならない傾向にある。だからこそ、地域経済研究会やゼミでは、お互いの研究を正確に理解し議論をしたい。お互いの研究を「関係ない」と簡単に言うてしまうことのない研究環境を作りたい。こういった活動に理解を示し、紀要発行にゴーサインを出してくださった岡田先生に心より感謝いたします。また、陰に日向に協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。研究も紀要づくりも1人ではできない、ということを実感しました。

(宇都宮千穂)

資本と地域 創刊号 (毎年 10 月発行)

2004 年 10 月発行

発行人 岡田知弘
発行所 地域経済研究会
連絡先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室
Tel/Fax : 075-753-3462 (研究室直通)
E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp
口座番号 : 00940-1-167133
印刷所 (株) 田中プリント
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
Tel 075-343-0006